

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【公表番号】特表2014-534266(P2014-534266A)

【公表日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-070

【出願番号】特願2014-543634(P2014-543634)

【国際特許分類】

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/645 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 19/00 Z N A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/645

C 0 7 K 16/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月6日(2015.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

同じポリペプチド鎖に沿ってタンデム配置で組み合わされた少なくとも2個の硫酸化P-セレクチン糖タンパク質リガンド(P S G L)ドメインを含む可溶性タンデムセレクチン糖タンパク質リガンド(T S G L)分子であって、P S G Lドメインのそれぞれが、少なくとも1個の硫酸化チロシン、およびシアリルルイスx(s L e^x)エピトープを有する少なくとも1個のO連結型グリカンを含む、T S G L分子。

【請求項2】

非T S G Lポリペプチドに融合した、請求項1に記載のT S G L分子。

【請求項3】

非T S G Lポリペプチドが免疫グロブリンFcである、非T S G Lポリペプチドに融合した請求項1に記載のT S G L分子。

【請求項 4】

非 T S G L ポリペプチドが、M A P - 1、S o l C D 3 9、クニツドメインポリペプチド、フィブロネクチン I I I 型ドメイン、または X T E N ポリペプチドからなる群から選択される、非 T S G L ポリペプチドに融合した請求項 1 に記載の T S G L 分子。

【請求項 5】

配列番号 4 のアミノ酸配列、または配列番号 4 のアミノ酸配列と少なくとも 7 0 % の配列同一性を有するその機能性変異体を含む、請求項 1 に記載の T S G L 分子。

【請求項 6】

配列番号 4 のアミノ酸配列を含む、請求項 5 に記載の T S G L 分子。

【請求項 7】

同じポリペプチド鎖に沿ってタンデム配置で組み合わせられた少なくとも 2 個の P - セレクチン糖タンパク質リガンド (P S G L) ドメインを含む可溶性タンデムセレクチン糖タンパク質リガンド (T S G L) 分子をコードする D N A 配列であって、P S G L ドメインが、少なくとも 1 個の硫酸化チロシン、およびシアリルルイス x (s L e ^x) エピトープを有する少なくとも 1 個の O 連結型グリカンを含む、D N A 配列。

【請求項 8】

非 T S G L ポリペプチドに融合した T S G L 分子をコードする、請求項 7 に記載の D N A 配列。

【請求項 9】

非 T S G L ポリペプチドが免疫グロブリン F c である、非 T S G L ポリペプチドに融合した T S G L 分子をコードする請求項 7 に記載の D N A 配列。

【請求項 10】

非 T S G L ポリペプチドが、M A P - 1、S o l C D 3 9、クニツドメインポリペプチド、フィブロネクチン I I I 型ドメイン、または X T E N ポリペプチドからなる群から選択される、非 T S G L ポリペプチドに融合した T S G L 分子をコードする請求項 7 に記載の D N A 配列。

【請求項 11】

T S G L 分子が、配列番号 4 のアミノ酸配列、または配列番号 4 のアミノ酸配列と少なくとも約 7 0 % の配列同一性を有するその機能性変異体を含む、T S G L 分子をコードする請求項 7 に記載の D N A 配列。

【請求項 12】

T S G L 分子が、配列番号 4 のアミノ酸配列を含む、請求項 11 に記載の D N A 配列。